

## 教養 講座

番号	F-01	担当教員	建築 安藤 淳一 教授	対象	全ての課程・学年生徒	所要時間	50分または 50分×2コマ
授業題目	都市計画入門 –北海道日本ハムファイターズのBPができるまちの将来とは？–						
授業内容	北海道日本ハムファイターズのボールパークが北広島市に建設され、そして2023年3月にオープンすることになりました。これに伴い、北広島市というまちに何らかの変化が訪れるかもしれません。北海道も変わるかもしれません。計画の概要と、予想される北広島市への影響を解説した後、これから北広島市というまちがどのようなようになっていくかを、グループに分かれひとつの分野について考え、提案・発表していただきます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	北広島市に北海道日本ハムファイターズのボールパークができることが決まりました。このような大きなイノベーションが、まちづくりにどのような影響を及ぼすのでしょうか。みなさんが自由にどのような影響を及ぼすのかを、発想したことを授業の後半で提案していただきます。			授業形式	講義 グループワーク		
				受講定員	40名程度		

番号	F-02	担当教員	建築 安藤 淳一 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	北国のすまい –北海道のすまいに隠されたさまざまな工夫–						
授業内容	北国のすまいは、積雪寒冷地という気象条件から多くの制約を受けるため、それに対応すべくさまざまな工夫と技術を生み出してきました。その一方で、美しい四季の変化と恵みをすまいのしつらえや生活空間の中に取り入れることも忘れませんでした。この授業は、先達の恩恵をどのように受け継ぎ発展させてきたか、これからのすまいに求められるものは何かを、北国のすまいの設計を通して解説します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	北海道の住まいはどのように造られているのか？どのような工夫がされているのかを解説します。建築に特に住まい（住宅）に興味を持つみなさんへ！			授業形式	講義		
				受講定員	40名～80名（クラス単位）		

番号	F-03	担当教員	デザイン 宮嶋 達也 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	海外留学のススメ –異国で学ぶ意義–						
授業内容	生活で不自由のない日本にいても、勉強するのはとても大変です。海外では、言葉も文化も違うところで、様々な不安やストレスを抱えながら、さらに勉強するのはもっと大変です。でも、それだからこそ、意義があると思いませんか？ 私も留学中（米国）に多くの失敗や挫折、そして多くのことを教わりました。そんな体験談を交えながら、「留学」について考えます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	海外留学のメリットやリスクなどを考えます。			授業形式	講義		
				受講定員	40名（クラス単位）		

番号	F-04	担当教員	経営 遠藤 均 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50～120分程度
授業題目	夢をかなえ、目標を達成するための考え方						
授業内容	主に、次のことについてともに考えていきます。 ①夢や目標を持つことで、生き方や人生がどう変わるのか。②夢や目標を持たない理由。③夢や目標を持つためにはどうすればいいのか。④みずからの可能性を信じるために。 楽しく、有意義な講座になるよう、興味深いデータや具体例をたくさん盛りこんでいきます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	夢や目標という視点から、キャリアや生き方、自分自身について、ともに考えていきます。			授業形式	講義・対話		
				受講定員	何名でも結構です		

## 教養 講座

番号	F-05	担当教員	経営 遠藤 均 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50～120分程度
授業題目	A I (人工知能) がもたらす大変革時代をよりよく生きるために						
授業内容	主に、次のことについて、ともに考えていきます。 ① AI、シンギュラリティとは、なにか？ ② AIにより、世界や仕事はどう変化していくのか。 ③ AI時代に必要とされる能力とは？ ④ AI時代に必要とされる能力の伸ばし方。 ⑤ AI時代を生き生きと楽しく生きるために。						
授業のねらい (対象とする生徒)	AI (人工知能) に起因する大変革時代を生き抜くための勉強法、生き方、人生設計などについて詳しくお話しします。			授業形式	講義・対話		
				受講定員	何名でも結構です		

番号	F-06	担当教員	経営 由水 伸 教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	対応可
授業題目	ネット利用：ニセ情報・詐欺情報に気をつけよう						
授業内容	インターネット上のデマや偽情報の蔓延が社会問題になっている。ふざけたり、間違った認識で発信された情報や、ステマなど情報操作で利を得ようとする悪質な事例も存在する。また、専門用語を並び立てて、相手の知識欠如や混乱を利用して詐欺をはたらく事例も後を断たない。この講座では情報を鵜呑みにせず、真偽を見分け、検討し取舍選択してから利用するべきもの。と気づかせることを目的とする。						
授業のねらい (対象とする生徒)	ネット上にある情報は正しいものばかりではない。それどころか、詐欺情報も存在する。それを見分けて安全に利用することを目的とする。			授業形式	講義		
				受講定員	要相談		

番号	F-07	担当教員	経営 青山 浩之 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	『なぜ』という疑問を大切に① –法的な視点から新聞記事を読んでみる–						
授業内容	近年、企業不祥事に関する記事が新聞をにぎわしている。法令違反が企業の存亡をも左右する現在、会社を取り巻く環境は急激に変化し、法律を守り、それに従って行動することが強く求められている。本授業では、日常、何気なく接している新聞記事(特定の事例)を題材に、各新聞記事を読み込み、法的に何が問題なのかを考える。また、ビジネス活動で起こりうる法的問題の認識の育成を目的とする。						
授業のねらい (対象とする生徒)	『なぜ』という疑問を大切に、物事を多角的にとらえる力を養成します。			授業形式	講義		
				受講定員	40名(クラス単位)		

番号	F-08	担当教員	経営 青山 浩之 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	『なぜ』という疑問を大切に② –新聞記事を題材に論理的文章を書いてみる–						
授業内容	近年、産業社会を取り巻く環境は大きく変化し、意義ある役割をはたすために必要な基礎的な力が問われています。職場や社会で活躍する上で、必要な能力が若者に対して期待されます。この授業では、日常、何気なく接している新聞記事を題材に新聞記事を読み込み、5W1Hを視点に理解し、自分の考えをまとめてもらいます。さらに、自分の考えについて、理由や立場を明確にして、自分の意図を分かりやすい文章で伝える練習をします。						
授業のねらい (対象とする生徒)	『なぜ』という疑問を大切に、内容を正確に理解してまとめる「書く」力を養成します。			授業形式	講義		
				受講定員	40名(クラス単位)		

番号	F-09	担当教員	経営 青山 浩之 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	『なぜ』という疑問を大切に③ –情報を検索する方法を考察–						
授業内容	集めた情報は正しいのか？情報を見極めるには……。この授業では、日常的に行っている情報検索について考えてみます。						
授業のねらい (対象とする生徒)	『なぜ』という疑問を大切に、情報を検索し理解するための「調べる」力を養成します。			授業形式	講義		
				受講定員	40名(クラス単位)		

## 教養 講座

番号	F-10	担当教員	建築 小山 尋明 准教授	対象	全学年	所要時間	45～90分
授業題目	健康科学						
授業内容	健康、体力、発育・発達、栄養と生活、運動と身体、救急処置（RICE処置法・心肺蘇生法・応急手当）など全般について行います。						
授業のねらい (対象とする生徒)	生涯教育の一環として、スポーツや健康についての基礎的な化学的知識を深めさせるとともに、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けて、望ましい健康観を確立し、豊かな人間性を育成する。			授業形式	講義		
				受講定員	40名（クラス単位）		

番号	F-11	担当教員	建築 小山 尋明 准教授	対象	全学年	所要時間	45～90分
授業題目	生涯スポーツ指導演習（武道・柔道）						
授業内容	「精力善用」これこそが柔道に一貫する原理であるとともに、社会生活全てにおいても欠くことの出来ない重要な原理あることを明らかにし、この原理を実生活に生かす事によって、人間と社会の進歩と発展に貢献すること、すなわち「自他共栄」であることを学ぶ。						
授業のねらい (対象とする生徒)	我が国固有の文化である武道・柔道の基本的な礼法や精神である「自他共栄」・「精力善用」、また、知識・技術等について理解を深める。			授業形式	実技		
				受講定員	40名（クラス単位）		

番号	F-12	担当教員	建築 横山 哲也 准教授	対象	普通高校対象	所要時間	50分
授業題目	意外に簡単！ 建築に必要な数学とは？						
授業内容	建築に必要な基礎数学を具体的な例題を通して説明します。						
授業のねらい (対象とする生徒)	建築には数学の知識が色々な個所で必要です。その基礎知識について講義します。			授業形式	講義		
				受講定員	数名～40名（クラス単位）		

番号	F-13	担当教員	経営 河田 一郎 准教授	対象	全ての課程・学年	所要時間	50分
授業題目	ドイツ語入門						
授業内容	英語と比較しながら、ドイツ語の特徴を解説します。ドイツに旅行に行ったときに必要な会話や自己紹介も覚えましょう。						
授業のねらい (対象とする生徒)	ドイツ語って？こんな感じというお話をします。自己紹介もできるようになりますよ。			授業形式	講義・対話		
				受講定員	40名		